



体育協会主催のJリーガーによるサッカー教室

Q

鶴ヶ島市体育協会の NPO法人化

漆畑 和司 議員



A

公共的な団体としての役割を 果たす

質問一 関係団体への十分な周知がない中で、短期間での法人化への道を選択した理由について。

二 これまでの経緯について。

答弁一（教育委員長） 体育協会が公共的な団体としての役割を果たすためには、体育協会の財政基盤の強化と自主運営ができるだけの組織力の強化が必要である。

法人化により各種の助成金が受けられ、市に財政負担を求めずに新たな事業展開が可能になるので、市としても、人的、財政的負担の軽減につながる。メリットを総合的に勘案し、市として、法人化を支援していく判断をした。

二 平成25年4月の理事会、5月の評議員会で、法人化準備検討部の設置が承認された。法人化準備検討部は、おおむね月2回と

いう頻度で開催され、他市への視察も含め、11月末までに9回の研究・検討が行われた。

8月の理事会で法人化に向けた中間報告書が示され、各加盟団体を代表する理事に検討経緯の説明を行い、10月に各加盟団体の長や役員を対象とした説明会を開催し、報告や意見聴取を行った。

12月に臨時評議員会及び設立総会を開催し、各加盟団体を代表する役員承認を得て、法人化が合意された。

A

市の情報化における 課題について

出雲敏太郎 議員



質問一 公民館予約システムの手続がネット上で完結しない理由。

二 鶴ヶ島クラウド事業とは。

三 情報セキュリティ体制はどうなっているか。

答弁一（市長） 公共施設の原則有料化にあわせて、施設予約をサポートするシステムとして平成21

年度に開発し、22年度から運用を開始している。

ネット上で予約し、許可書の発行と施設使用料の納付のため、窓口に来ていただいている。利便性向上のため、公共施設の管理運営方法の見直しとあわせて検討する。

二 「いつでも、どこでも、誰で

も」が利用できる情報の提供というユビキタス社会の実現を目指して、総務省の制度を活用して取り組んだ事業である。

CMS機能を持ったホームページシステムの導入、つるがしまタウンチップとの連携強化、ウェブ上での映像配信機能など、市民へのタイムリーな情報提供と市民生活に役立つ情報提供を目指したものである。

三 鶴ヶ島市電子計算組織運営管理規程及び鶴ヶ島市セキュリティポリシー等に定めて運用している。人的、技術的、物理的なセキュリティ対策を講じている。



つるがしまタウンチップの画面

ユビキタス社会・・・いつでもどこでも、利用者が意識することなく、コンピューターやネットワークなどを利用できる状態のこと。

CMS機能・・・Webコンテンツを構成するテキストや画像、レイアウト情報などを一元的に保存・管理し、サイトを構築したり編集したりすること。